

科目名				授業の種類		授業担当者																																																	
子どもの保健				講義		宮澤 美津子																																																	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修																																																		
1	2	30	15	前期	幼児: 選択	保育士: 必修																																																	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>1.子どもの身体発育・生理機能について説明できるようになる 2. 子どもの健康状態とその把握方法を知り、実践に活かすことができる 3.子どもの疾病とその予防方法や適切な対応について説明できる</p> <p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>保育士として子どもの命を守る立場であることを一人ひとりが自覚できるよう、子どもの健康・成長発達について学べるようにしていきたい。また保育士として、自分自身の健康に対する意識も高められるように伝えていきたい。 受胎と胎生期から乳幼児期までの成長発達や生理機能の発達について理解し、子どもの心身の健康に関心を持つ。子どもの疾病や予防についての知識を身につけ、日常生活(園生活)において適切な対応ができるようにする。</p> <p>[受講上の注意事項]</p> <p>事前・事後の時間外学習をして臨みましょう。</p> <p>[使用テキスト]</p> <p>子どもの保健テキスト 診断と治療社</p> <p>[評価基準]</p> <p>試験、授業への取り組み姿勢、授業欠席等を合わせて、総合評価を行う</p> <p>[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>項目</th> <th>授業内容と課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>子どもの健康と保健</td> <td>授業の進め方について、保健活動の意義と目的 環境調整</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>子どもの出生と母子保健の意義</td> <td>胎児の発育 出生の過程 出生後の新生児 母子保健の意義</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現代社会における子どもの健康に関する現状と課題</td> <td>統計やグラフから現状を捉えて、課題について考える</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子どもの身体発達と運動機能の発達</td> <td>子どもの発育と発達 乳幼児の身体計測の仕方 発育の評価の仕方</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>生理機能の発達と生活習慣</td> <td>体温調節の発達 呼吸器系・循環器系・体液調節・消化器系・排泄機能・睡眠の発達</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>地域における保健活動と子どもの虐待防止</td> <td>虐待の実態から虐待防止への取り組み 虐待に関わる地域の関係機関</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握</td> <td>子どもの健康状態の把握、体調不良時によくみられる症状</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>子どもの免疫の発達と感染症の特徴</td> <td>子どもの免疫の発達、感染症とは 主な症状、ウイルス感染症、細菌性感染症</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>感染症</td> <td>感染経路と対策 学校感染症 予防接種 母子感染症の予防</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>救急疾患</td> <td>重症な状態の判断と対応 事故や怪我の特徴・急性疾患による救急の対応</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>新生児の病気 先天性の病気</td> <td>新生児の病気 新生児疾患への対応 染色体異常 先天性の心疾患・消化器疾患・神経疾患・代謝異常症・内分泌異常症・血液免疫疾患</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>アレルギー疾患</td> <td>アレルギーとは アレルギーの診断 食物アレルギー アトピー性皮膚疾患 気管支喘息 花粉症 アナフィラキシー 集団生活でのアレルギー児への対応</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>慢性疾患</td> <td>子どもの慢性疾患、種類と特徴、支援制度</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>保護者と情報共有と家族の支援</td> <td>集団生活健診、保護者との健康情報の共有、家族支援、子育て支援</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>まとめと試験</td> </tr> </tbody> </table>								回	項目	授業内容と課題	1	子どもの健康と保健	授業の進め方について、保健活動の意義と目的 環境調整	2	子どもの出生と母子保健の意義	胎児の発育 出生の過程 出生後の新生児 母子保健の意義	3	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	統計やグラフから現状を捉えて、課題について考える	4	子どもの身体発達と運動機能の発達	子どもの発育と発達 乳幼児の身体計測の仕方 発育の評価の仕方	5	生理機能の発達と生活習慣	体温調節の発達 呼吸器系・循環器系・体液調節・消化器系・排泄機能・睡眠の発達	6	地域における保健活動と子どもの虐待防止	虐待の実態から虐待防止への取り組み 虐待に関わる地域の関係機関	7	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	子どもの健康状態の把握、体調不良時によくみられる症状	8	子どもの免疫の発達と感染症の特徴	子どもの免疫の発達、感染症とは 主な症状、ウイルス感染症、細菌性感染症	9	感染症	感染経路と対策 学校感染症 予防接種 母子感染症の予防	10	救急疾患	重症な状態の判断と対応 事故や怪我の特徴・急性疾患による救急の対応	11	新生児の病気 先天性の病気	新生児の病気 新生児疾患への対応 染色体異常 先天性の心疾患・消化器疾患・神経疾患・代謝異常症・内分泌異常症・血液免疫疾患	12	アレルギー疾患	アレルギーとは アレルギーの診断 食物アレルギー アトピー性皮膚疾患 気管支喘息 花粉症 アナフィラキシー 集団生活でのアレルギー児への対応	13	慢性疾患	子どもの慢性疾患、種類と特徴、支援制度	14	保護者と情報共有と家族の支援	集団生活健診、保護者との健康情報の共有、家族支援、子育て支援	15	まとめ	まとめと試験
回	項目	授業内容と課題																																																					
1	子どもの健康と保健	授業の進め方について、保健活動の意義と目的 環境調整																																																					
2	子どもの出生と母子保健の意義	胎児の発育 出生の過程 出生後の新生児 母子保健の意義																																																					
3	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	統計やグラフから現状を捉えて、課題について考える																																																					
4	子どもの身体発達と運動機能の発達	子どもの発育と発達 乳幼児の身体計測の仕方 発育の評価の仕方																																																					
5	生理機能の発達と生活習慣	体温調節の発達 呼吸器系・循環器系・体液調節・消化器系・排泄機能・睡眠の発達																																																					
6	地域における保健活動と子どもの虐待防止	虐待の実態から虐待防止への取り組み 虐待に関わる地域の関係機関																																																					
7	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	子どもの健康状態の把握、体調不良時によくみられる症状																																																					
8	子どもの免疫の発達と感染症の特徴	子どもの免疫の発達、感染症とは 主な症状、ウイルス感染症、細菌性感染症																																																					
9	感染症	感染経路と対策 学校感染症 予防接種 母子感染症の予防																																																					
10	救急疾患	重症な状態の判断と対応 事故や怪我の特徴・急性疾患による救急の対応																																																					
11	新生児の病気 先天性の病気	新生児の病気 新生児疾患への対応 染色体異常 先天性の心疾患・消化器疾患・神経疾患・代謝異常症・内分泌異常症・血液免疫疾患																																																					
12	アレルギー疾患	アレルギーとは アレルギーの診断 食物アレルギー アトピー性皮膚疾患 気管支喘息 花粉症 アナフィラキシー 集団生活でのアレルギー児への対応																																																					
13	慢性疾患	子どもの慢性疾患、種類と特徴、支援制度																																																					
14	保護者と情報共有と家族の支援	集団生活健診、保護者との健康情報の共有、家族支援、子育て支援																																																					
15	まとめ	まとめと試験																																																					
実務教員としての経歴		看護師の資格を有し、急性期病院、地域病院での実務経験、看護学校、看護大学で教員の経験がある																																																					
実務経験と授業の関連		小児看護の経験と看護師の資格を活かし、将来保育士を目指す学生たちに必要な保健の知識と技術を教授する																																																					